



創立 1995 年 10 月 18 日

気軽に交流を楽しむクラブ

2013～14年度 テーマ ー優れた運営の仕組みを継承し、会員活動をより楽しくしようー

第 222 回例会

日 時：平成 26 年 4 月 10 日(木) 11:30～13:30

場 所：八王子エルシィ

出席者：65 名 欠席者 6 名 出席率 91.5%

(会員総数 71 名 休会 0 名)

会食とハッピーコイン披露

野口会員(戸田例会委員長欠席の為代行)の司会で開会。会食中に土井俊玄副会長より 10 件のハッピーコインの披露(6 ページに掲載)、本日の資料確認。

1. 挨拶 荒会長

皆様こんにちは。桜も満開となり、一年で最も華やかな季節となりましたが、これを待てずに「歴史を肴に語ろう会(歴史の会)」は3月22日、東京上野に繰り出しました。私も参加させて頂き、国指定重要文化財になっている金箔に輝く東照宮では、贅沢な社だなと感嘆致しました。ガイドさんに詳細な説明をして頂き、全てが分かった様な気になりました。江戸時代なら庶民が拝観など決して出来なかった筈の霊廟ですので、より光輝いていたであろうと想像しました。

また4月の「生涯学習サロン」は野外サロンで、「世界一、世界に一つ」を見学できるとのことで、今から楽しみにしています。

さらに「宇宙の学校」も新年度の計画がまもなく審議される予定で、子供たちが使う作業テーブルの製作など、会員自らが裏方で地味な仕事を着実に進めて頂いております。

私は就任時に“20周年記念の議論をスタートする”という目標を掲げましたが、3月には、「創立20周年準備室」が設立され、来年10月に向けての準備が始まりました。今後の準備活動は全て

この「準備室」で推進することになりますので、協力要請がある時は是非ご参加下さるようお願い致します。

最後に、会員各位におかれましては、夫々の担当部署で大いに活躍され、この素晴らしい季節にクラブライフを楽しんで頂きたいと願いながら、今月の挨拶と致します。

2. バースデーカードの贈呈

今月も池田会員手作りのバースデーカードが、荒会長より下記4名の会員に贈呈された。(敬称略・写真左から)塩澤迪夫、熊田真瑜美、佐々木研吾、内山雅之。欠席(池田ときえ)



3. 講師紹介



卓話の講師としてお迎えした多摩プロバスクラブの澤雄二様を紹介。前参議院議員、公明党東京都本部顧問、「政策プラットホーム 21 世紀塾」塾長。

4. 卓話「消費税・国債について」

多摩プロバスクラブ 澤雄二氏

冒頭に「澤ゆうじ国会活動報告」(平成22年7月25日発行)から国会における質問実績を中心に活動実績の紹介があった。ついで「平成元年度

以降の一般会計税収の推移」(平成 21 年 3 月 16 日発行)等の資料を中心に、消費税導入後、平成 20 年までの国の税収の推移が示された。増収見込みは達成されていない点が問題指摘され、時の政府の政策の誤りであると強調された。国は 1000 兆円を超える借金があり、破綻するのではないかと心配をする向きがあるが、十分な保有資産があり、国が破綻することは無い。日本国民の義務的経費は既に欧米と並んでおり、これ以上の増税は国民の可処分所得を低下させ、決して景気回復に繋がらないとの主張であった。尚、予定時間がオーバーしたため、質疑応答は省略された。以下にご本人から頂いた講演原稿を掲載する。

『今年 4 月から消費税は 8%に増税された。これで私達の社会保障は守られるのか、生活を維持できるのか、私は極めて危ないと考えている。様々な視点から検証したい。』

先ず指摘したいのは、消費税導入後の税収の推移である。平成元年に消費税 3%が導入された。しかし、消費税が引き金となって、翌年 3 月バブルが崩壊する。法人税、所得税が大幅減収となり、6 兆円の増収の目論みに対して 5 年後の平成 5 年にはマイナス 5 千 5 百億円となる。この減収に耐えられなくなった財務省は平成 9 年 5%に増税する。10 兆円の増収予定である。しかし、その翌年の増収は 1 兆 5 千億円に留まり、翌年はなんとマイナス 1 兆 8 千億円に落ち込む。減収はその後も拡大を続け、平成 15 年にはマイナス 6 兆 6 千億円となる。消費税不況である。引き上げ後 3 ヶ月で消費と住宅部門で GDP がマイナスとなった。翌年 GDP デフレーターはマイナスに落ち込んだ。デフレスパイラルの始まりである。消費税の導入も税率アップも増収どころか、景気を後退させ大幅な減収を招いたのである。

欧米では「日本は財政破綻ではなく政策破綻である」と指摘している。景気に最も効果があるのは内需喚起である。それには国民が消費する力を持つことである。しかし、この 20 年間、国民の可処分所得は減少を続けている。医療・介護・年金の社会保障費が増え続けていること、またサラリーマン減税だった「定率減税」と年金生活者減税の「老年者控除」の廃止など、実質増税が相次

いだ。一方給与所得は減り続ける。平成 9 年の 467 万円が平成 22 年には 412 万円まで減少する。小泉内閣が実施した労働者派遣法の改定による非正規社員の増加が追い討ちをかけた。

「デフレ時に増税はあり得ない」は世界の常識。リーマンショック時に米国は「日本の轍を踏むな」を合言葉に景気対策 70 兆円のうち 25 兆円を減税に振り分けた。「欧州の消費税は 20%で日本は 5%」は説明が違う。社会保障費など義務的支出は日本も欧州も 40%で負担は同じだ。1 千兆円の債務も、日本は企業の内部留保を含めて 5 百兆円の金融資産を所有している。対外純資産も 250 兆円あり、世界最大である。国債の所有者は 95%が日本国民であり、償還は日本にされる。70%が海外所有のギリシャとは同じでない。

今の日本で必要な対策は、大幅な減税と大幅な財政出動を伴う成長戦略である。その予算はどうするのか。一つは徹底した行政改革。例えば、防衛省にコピー機のリース 1 年から 5 年契約に変更させた。それだけで年間 73 億円支出が減少した。特別会計の埋蔵金もまだ存在している。決定的なのは、国の会計制度の改革である。国の莫大な補助金は 8 月から 9 月に支給される。3 月までの半年間で遣いきれない。翌年の減額を恐れて年明けから無駄遣いを尽くす。資産と負債の項目を入れた公会計制度の導入は絶対条件である。財政再建は経済成長しかない。強力な政治の指導力を求める。』

編集に当たっては、多摩プロバスニュース 52 号を参考にした。(情報委員会 田中信昭担当)

5. 幹事報告 馬場幹事

1) 「創立 20 周年準備室」の設立

「創立 20 周年準備室」は 3 月 19 日に発足し、第 1 回のミーティングが開かれた。互選により杉山会員が室長に就任され、次いで全体のマイルストーンについて議論した。今後は、創立 20 周年関連事項は当準備室が担当することになり、記念式典、懇親会、イベント、記念誌等について全体構想から検討を行う。

2) 「宇宙の学校」リーダーの理事会参加

会員への「宇宙の学校」関連事項の周知・理解

のため及び健康フェスタ等へも参加して頂くため、4月理事会から「宇宙の学校」リーダー（下山運営本部長）にオブザーバー出席をお願いした。早速4月からの新年度の概略構想について報告があり、5月の健康フェスタへの参加もお願いした。

3) 「保管資料マニュアル」の見直し

本マニュアルは平成21年12月に制定されているが、その後の環境変化（ホームページの容量拡大、電子化の進展等）を踏まえて、理事会で見直し検討に着手した。6月例会には報告予定。

6. 委員会報告

(1) 例会委員会 野口会員

出席率報告

(2) 情報委員会 田中委員長

山崎会員の編集になるプロバスだより発行連絡と今後の投稿依頼

(3) 会員委員会 荻島委員長

なし

(4) 研修委員会 河合委員長

なし

(5) 地域奉仕委員会 内山委員長

*生涯学習サロンの出席数

第1週 132名

第2週 128名

第3週 148名（予定）

*5月8日の閉講式への一般サロン会員の出席勧誘依頼：この例会後のサロンに於いて各司会者は閉講式への参加呼びかけを。

*4月24日の野外サロンは朝7時45集合、お間違いなきよう。

7. 「宇宙の学校」報告 下山運営本部長

*今月から、理事会にオブザーバーとして出席させて頂き、八王子「宇宙の学校」の状況報告をさせて頂く事になりました。

(1) 4月25日実行委員会を開き事業計画を決定する。

(2) 新年度は東京工科大学会場でスクーリングを開校する。併せて3会場になる。

(3) 昨年度の反省を踏まえ、本部教育センタ

一会場と工科大学会場は日曜日とする。（北高校会場については会場の事情により土曜日とする）

(4) 対象は小学校1、2、3年生とその保護者とする。

(5) 日程は、後日プログラム印刷が出来た時点で皆さんにも配布するが、概略次の通り

◆東京工科大学会場

募集 80組

日程 7月6日 開校式、スクーリング

9月28日 スクーリング

10月26日 スクーリング

11月9日 スクーリング、閉校式

◆教育センター会場

募集 60組

日程 7月13日 開校式、スクーリング

9月7日 スクーリング

10月19日 スクーリング

11月30日 スクーリング、閉校式

◆北高校会場

募集 30組

日程 7月12日 開校式、スクーリング

9月27日 スクーリング

10月25日 スクーリング

11月15日 スクーリング、閉校式

以上170組で5割増の計画になっている。尚、工科大学会場のボランティアは全面的に大学生が担当し、北高校会場は高校生が主となって実施予定。

(6) 募集開始は5月15日で、昨年度より1カ月早める。

*以上のように新年度は既にスタートを切っており、「宇宙の学校」は4月から新年度活動が始まっています。一方プロバスクラブはサロンがまだ進行中であり、新年度は7月スタートで、年度替わりの時期がずれております。「宇宙の学校」の担当は事業の途中で交代と言う事が起こり、それは大変ご苦勞をおかけする事になります。特に引き継ぐ方は大変です。是非この事をご理解頂いて、いろんな形でのご支援・ご協力をお願いします。

8. 同好会報告

(1) 写真同好会：矢島会員

春の撮影会を4月26日に奥多摩湖にて実施する計画にしていますので、興味をお持ちの方々の参加をお待ちしています。

(2) 麻雀同好会：東山会員

先頃退会された矢崎さんの代わりに世話役を引き受けていますが、最近人数が減ってきており、是非興味をお持ちの皆さん方の積極的参加をお待ちしています。毎月第3火曜日です。

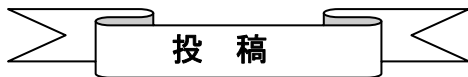
(3) カラオケ同好会：杉山会員

次回（第3回）を4月23日に予定しています。皆さんのお気軽な参加をお待ちしています。

9. プロバスソング斉唱

10. 閉会の挨拶 土井俊玄副会長

皆さん、お疲れ様でした。本日はこの後、サロンの第3週です。おいで下さるサロン会員の皆さんにどうぞ暖かいおもてなしを！



歴史の会より

歴史の会幹事 土井俊雄



3月22日快晴に恵まれ、上野のお山周辺の東照宮、寛永寺、東京都美術館、下町風俗資料館等を参加者14名で見学してまいりました。増田会員のご尽力で、港区周辺の歴史散歩（平成24年10月実施）に続くシリーズとして実施いたしました。14名は2班に分かれ、それぞれのボランティアガイドにより、懇切な説明を頂き、散策するに絶好の日和のもと、満開の彼岸桜が我々を浮き浮きとさせてくれました。

時代の流れと生活基本の大切さ

塩澤迪夫

昨年の夏は異常気象の連続に加えこれまで経験したことのない猛暑でした。近年は文明の発展

にすっかり慣れてしまい快適な生活があたりまえになっています。夏には私たちは、室内にいれば当然の如く快適に過ごし、たとえ猛暑でも、エアコンが室内を冷気で包み何とも



言えない心地良さを与えてくれます。反対に冬は木枯らしの吹き荒れる時期に室内を暖かく迎えてくれるのが現在の生活です。

まさに快適な生活は、深夜でも空腹を感じたら食べ物、飲み物、果物がコンビニエンスストアで簡単に手に入り、そればかりでなく部屋の中は、いたる所で電気製品が使用され、リモコンが全てを支配し、ボタンひとつでお湯も、冷水も、必要なら何時でもすぐそこにあります。

此処で私たちの幼少の頃を思いだして見ましょう。夏はどんなに暑くても扇風機の生温かい風が唯一の頼りでした。夜は暑苦しく眠れない時は、窓も雨戸も開放して蚊帳の中で過ごし、冬は炬燵で暖をとり、布団の中に湯たんぽを忍ばせて寝ました。台所に目をやると、今は蛇口をひねれば水も湯も出るのに、当時は井戸水を汲み上げて飲んだり、薪を燃やして湯を沸かしたり。また部屋での団欒といえばラジオを聞くだけだった世界から今や一変してしまいました。考えてみるとつい最近まで存在した事実です。

過日の大震災は全人類を恐怖に包み、あらためて今日の便利社会から人類の生活の原点に戻り、生活の基礎を学ぶ事の必要性を教えてくださいました。こうした便利な暮らしは生活の基本となっている水道、ガス、電気等の基盤があるから達成されているのであり、それらが災害等により一瞬にして損なわれれば、現代生活がたちまち消滅してしまうという、生活の基本を知る必要性を痛感します。

数年前に、キャンプインストラクター受講者を対象として野外でのキャンプ研修会を開きました。川に入り、網を使って川魚を捕り、川の水を汲み、大きめの石でカマドをつくり、薪を集め、マッチで火をつけ湯を沸かし飲料水を作り、飯盒でご飯を炊いたり、また畑に穴を掘り囲いをしてトイレを作り、ドラム缶風呂に入ったりテントに

数日間寝泊りした貴重な体験をしました。

それ以来、毎年夏には市内及び近隣の親子の参加を募りデイキャンプを開催していますが、毎年参加人数が増加して、レジャーばかりでなく生活の原点と考えられる飯盒炊爨やテント設営方法に人気が集まりました。こうして自ら水を見つけて飲料水を作り、マッチで火をつける事すら知らない世代の子供達にそれを覚えさせることにもなっています。

このことは深刻に捉えなければなりません。なぜならば、多くの人々が、生きていく為の基本技術の必要性を知る機会を求めて、こうしたネイチャーレクリエーションに人気が集まっているからです。同時に家族間の絆や参加者同士の友好にもつながります。私はこのような大きな役目を実現させる為に、これからも生活の楽しい過ごし方や健康維持に役立ちたいと思っています。さらに平成 25 年国民体育大会にデモンストレーション種目の一部に採用されたレクリエーションやニュースポーツ等も今後大いに伝えていきたいと思っています。

二つの故郷

私の生れた所は古里村で、現在長野市に編入され、善光寺の北東にあります。

村の中央に浅川（あまり大きくない）が流れており、下流で千曲川に合流します。その先が唱歌ふるさと作詞者高野辰行の生まれた豊田村（現在は飯田市）です。千曲川をはさんで南側に中山晋平の生まれた中野市があり、その先に今ではすっかり観光地になった小布施があります。

冬になれば雪山にうさぎの足跡を追いかけまわし、春なれば小川で小さな魚を釣ったものです。文字どおりの「ふるさと」を、自分たちのものとしてよく唄ったものです。

善光寺の西の小さなお寺に、作曲家草川信のふるさととして、夕やけ小やけの碑があります。「夕やけ小やけ」も自分たちのふるさとの歌として、

浅川文夫



これまたよく唄ったものです。

いま私は八王子市の浅川（長野市のものに比べれば大河です）のほとりに住んでいます。市役所の北西で南北の浅川が合流します。南浅川は高尾山の上流より流れていますが、雨季以外はあまり水量がありません。

合流地点より少し上流の北浅川に化石の一群があります。ハチオウジゾウの化石や足跡、メタセコイヤの化石をたくさん見ることが出来ます。

さらに上流に進むと、河川敷は広くなり 200m 位になります。浅川河川敷公園を起点として、南側堤防に遊歩道ができています。ここは歩行者と自転車以外は通れませんが、センターラインもある立派な道が、宝生寺あたりまで約 3km つづいています。

遊歩道ははじめのうちは、堤防のはるか下に水の流れが見えています。やがて広い河川敷の森の中に見えなくなります。この林の中には、絶壁に近い断崖があり、人を寄せ付けない白い奔流のつづくところもあります。宝生寺あたりになると、水の流れ広く、鏡のような水面を見ることもできます。

車の音も排気ガスもなく、この遊歩道を歩くと、鶯の声、雉の鳴き声も聞かれます。運がよければ、河川敷の中に雉の姿も見られます。周囲の山々も日ごとに色をかえ、はるかに風の流れも見られます。季節の変化が全身で感じられます。

さらに上流の宮尾神社に夕やけ小やけの碑があります。ここは中村雨紅の生まれた地です。夕やけ小やけは、わが町の唄として、八王子市民の愛唱歌となっています。宮尾神社の隣に作られた夕やけ小やけの里では、それぞれがわが町の唄とする長野市と八王子市の市民合唱団による唄の祭りが行われています。夕やけ小やけの里の前園長、荻島靖久氏（プロバス会員）の肝いりで、八王子と長野とが毎年会場をかえて、合唱祭がつづいています。

八王子に住みついて 50 年、このまちが自分のふるさとになったと思っています。八王子と長野の豊かな二つのふるさとをもって、楽しい人生をすごしております。

ハッピーコイン

◆4月4日いちょうホールでくトリオヤマガタ春の音楽会>を開かせて頂きました。皆様のご支援で無事終了できました。誠にありがとうございました。山形忠顕

◆ついこの間 80 歳の大台に辿り着いたと思いましたが、アツという間にまた馬齢を重ねました。このうえは一層キョウイク（今日行くところがある）とキョウヨウ（今日用事がある）に励んで、出来るだけ多く池田さんのカードを貰えるよう努めます。佐々木研吾

◆山形さん、4日のいちょうホール、山形ファミリー音楽会、大変素敵でした。杉山友一

◆誕生カードでいつもお世話になっている池田さんの誕生日を祝して乾杯！野口浩平

◆遅ればせながら、先月の例会でバースデープレゼントに絵手紙を頂戴し、その出来栄えと共に幾つになってもプレゼントはうれしいものです。土井俊雄

◆大好きなお花を活けてこころ豊かに。阿部幸子

◆娘のところで男児出生、待ちわびていた若夫婦、大変喜んでます。根本洋子

◆春のイベントが無事終了しました。

1) クレアーレ・ビッグバンドジャズコンサート

2) 由井吹奏楽団定期演奏会

3) 男声合唱団コール・プレアデスコンサート
ご来場有難うございました。武田洋一郎

◆3月31日に36年がかりで病院事務長職の修了証書を手にしました。大過なく無事に卒業できましたのは多くの方々のお陰と感謝しております。病院には引き続き理事として執務しておりますので、宜しくお願いします。「来し方を包みて今日の桜かな」久野久夫

◆4月1日元気にバースデーを迎えました。皆さんと共に更に活動します。塩澤迪夫

俳句同好会便り

河合 和郎

私の一句～4月の句会から

今月は「花見」が兼題。春らしい句が沢山。いい句も沢山。句会の名前が「夕やけ」と決まり、自選句集も刊行。ますます佳境に。

花追ふていつのまにやら谷中まで 池田ときえ

寛永寺の鐘の音が聞こえてくる。お花見の雰囲気、臨場感がよく伝わってくる。佳句

宴果て夜桜やはく影落す 立川富美代

お花見の客も帰り桜の山に静けさが戻った。喧噪の後の夜桜の風情が詠めた。秀句。

優先席春の香りも譲られて 田中 信昭

ほのぼのと心温まる秀句。「春の香りも」がうまい。譲ってくれた御仁は妙齢なおひとかも。

ちょちょこと雉のお通り桃源郷 飯田富美子

ユーモラス面白い。桃の花咲く頃は雉の恋の季節でもある。舞台もよし、桃源郷。

せせらぎも温もりのせて里の春 東山 榮

初春の里の様子を詠って佳句。「温もりのせて」の詩的措辞に若々しいセンスがある。

花冷えに衣重ねし夕べかな 阿部 治子

陽が落ちて少し寒さを覚える春の宵に一枚羽織るしぐさ。さり気なくてうまい句。

春眠に気を許したる寝相かな 吉田 信夫

俳諧味たっぷりの佳句。寝相の主が人でも、犬でも、猫であっても洒脱な一句。

連翹の花に誘はれ回り道 馬場 征彦

この感覚はもう俳人の境地。連翹の花に惹かれて回り道とは心憎い。日常を詠んで佳句。

散る命桜に託し征きし友 渋谷 文雄

今年も桜の季節が巡ってきた。悲痛な体験が甦る。この悲劇を再び許すまじ。追悼の秀句。

西行忌花の許辺を夜もすながら 山形 忠顕

西行の「願はくは花の下にて……」を踏んで、古の歌人を偲ぶ一句。風情のある佳句。

水温む映ゆる浅瀬に鍬洗ふ 石田 文彦

今日の最高点句。水が温んで春が到来する季節の移ろいを農作業に託して詠んで佳句。

花の宴一片の舞ひ盃に受け 河合 和郎

花見の宴の一景を詠んだ。舞い散る花を盃に浮かべて飲む。桜花爛漫の日本は美し国である。

編集後記

今月号が発行される頃はきっと快適な季節。皆さんエンジョイ・プロバスライフ！

田中 信昭

